今帰仁村立今帰仁中学校　学校便り『一生懸命がかっこいい』（第８号）　令和元年５月３０日（木）

一生懸命がかっこいい

学校便り
発行
大城正章

教育目標

一　自ら学び深く考える生徒
一　明るく思いやりのある生徒
一　ねばり強くたくましい生徒

授業改善に向けて

公開授業月間

公開授業月間

４月は各自の公開授業・連休明けから校内研修の取組として公開授業月間がスタートしました。授業改善を頑張っている先生方の授業を紹介します。（文章は職員室だよりの内容です）

まいこ先生の授業参観

本校の一事徹底である「人の話をしっかり聴く」が徹底された授業で、初任者らしからぬ落ち着いた語り口で、生徒が聴ける状態まで待つことができていました。（参観後の振り返りで確認すると、恩師の影響を受けて待つことを意識しているとの事でした）

また、「目線を私に下さい」「目線は今黒板です」「後で書く時間があります。今は聴いて下さい」など、具体的な表現で指示を行い、聴く態度を育てていました。

授業は、生徒の前時のまとめを生かしながら、更に物語を深く読み込み、個人の考えをまとめ、仲間の考えを共有しながらグループでまとめ・発表を行い、めあてに迫っていく授業でした。生徒が具体的な見通しが持てるから、自分で考えることができる。自分の考えを持っているから、他者の考えを素直に聞き入れる事ができる。教師の意図が反映された授業だと思いました。

【考えの交流の場面】

功美先生の公開授業

功美先生の本時の授業は、ネビル先生とのやり取りから、「今日のゴールは？」と生徒に問うと、「ネビル先生にお勧めのお土産を考える」との生徒の声を拾い、本時のめあてに繋げていきました。またモデル図を示しながら、書く時のコツやポイントの際には「ここが大事」と強調したり、より生徒が取り組めるよう工夫を行っています。生徒が課題に取り組む中、机間指導で拾った生徒の声を全体で共有するなどの工夫が見られ、生徒は自己の学びから自然に周りと考えを共有する姿に移り変わり、ほとんどの生徒が本時の目標を達成する授業でした。

今日の授業は、昨日の直子先生の公開授業を踏まえ、授業をより焦点化するためにブラッシュアップされた授業内容になっています。つまり、公開授業を通して参観者も授業改善を考え、授業実践に挑戦する。英語科の素晴らしい取組だったと思います。

【自然に学び合う様子】

いずみ先生の公開授業

いずみ先生の授業全体を一言で言うと「全員が参加する授業」でした。授業は，「布ってどんな風に作られるの？」の問いかけから，授業の流れの確認，ワークシート等必要のないものはテーブルの下に置くなど、ユニバーサルデザインの視点を生かしながら授業はスタートしました。

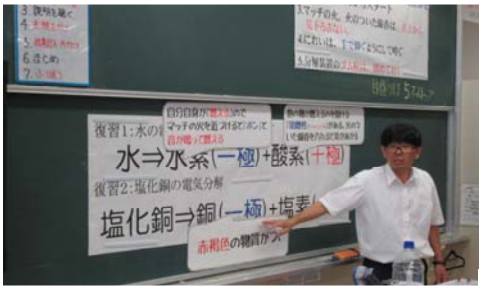
日常生活に触れる問いから、実際の布でできた具体物（コースター・エプロン、ズボン等）を見せると、生徒も自然に笑顔になっていました。その後も、最初に示した布の切れ端をほぐしながら縦糸と横糸に分け、毛糸を使って実際の平織り・綾織りに生徒は挑戦していきました。また板書とワークシートが一体化しており、生徒が見通しを持って授業に臨める（全員が参加する）授業でした。

【作業に打ち込む様子】

直介先生の公開授業

直介先生の授業で感心する点は授業の準備が行き届いている点です。まず、めあての大切な部分（本時のゴール）は黄色のチョークで示してめあてを確認しています。またグループで予想を立てる際にも再度ゴールを示し、より本時の見通しが持てるように工夫を行っていました。既習事項の確認や実験の説明をする際も、重要な部分は赤色や青色で示し、より生徒の理解を深める工夫を行っており、本校の校内研修のサブテーマであるユニバーサルデザインの視点が生かされた授業です。また実験の道具についても容器内に整理されており、安全面等細かな配慮がされていました。当然のことながら生徒も、実験を通して学びに向かう姿が見られました。

【ＵＤの視点の板書】


水⇒水素(一極)+酸素(十極)
復習2:塩化銅の電気分解
塩化銅⇒銅(一極)+塩素
赤褐色の物質が

今帰仁中学校の一事徹底事項：「人の話をしっかり聴く」